

2018年度 第3四半期決算について

2019年2月7日

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

➤ 連結決算概況

- 2018年度第3四半期 連結決算の状況
- 2018年度第3四半期 セグメント別の状況

➤ トピックス

➤ Appendix



連結決算概況

2018年度第3四半期 連結決算の状況

- 増収・増益、第3四半期として過去最高
- 年間計画に向けて順調な進捗

連結決算状況

● 営業収益	:	8兆7,952億円	(対前年 +483億円 [+0.6%])
● 営業利益	:	1兆5,271億円	(対前年 +1,175億円 [+8.3%])
● 当期利益 ^{※1}	:	7,921億円	(対前年 +108億円 [+1.4%])
● 海外売上高 ^{※2}	:	140億ドル	(対前年 +4億ドル [+2.7%])
● 海外営業利益率 ^{※2}	:	3.1%	(参考 : 2017年度年間実績 3.1%)

※1 当期利益は、当社に帰属する当期利益（非支配持分帰属分控除後）を記載しております。

※2 グローバル持株会社帰属。海外営業利益は買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いております。

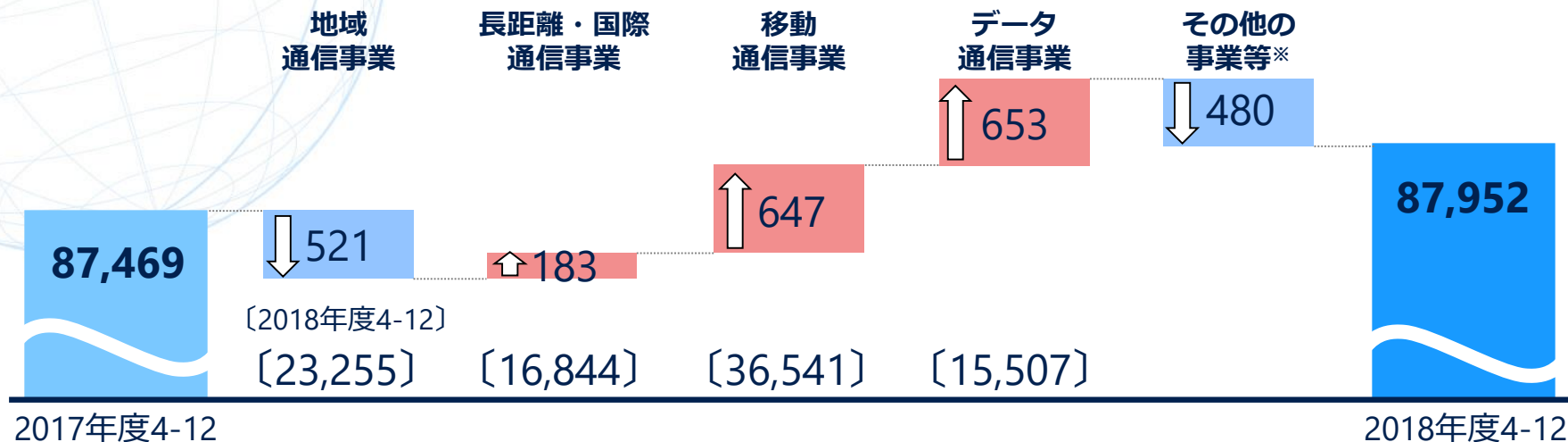
2018年度第3四半期

セグメント別の状況 **NTT**

営業収益

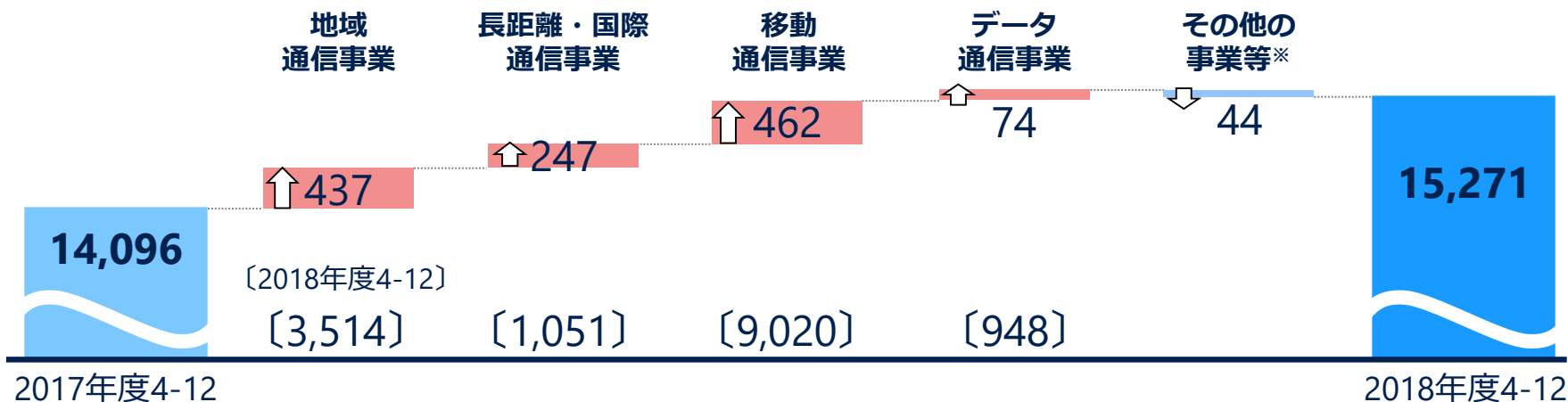
(対前年 : +483)

(単位 : 億円)



営業利益

(対前年 : +1,175)



※セグメント間取引消去・その他を含む



トピックス

B2B2X戦略委員会の設置

- B2B2Xモデルの更なる推進のため、当社内にB2B2X戦略委員会を設置（2019年1月28日）
 - ・ 先行ビジネス創出から事業会社主導の本格ビジネス展開へ
 - ・ グループの戦略策定・目標管理・事業推進を実施

【参考】直近のB2B2Xモデルの取り組み事例

- ① 金融機関の新たな融資サービスの提供を支援
 - ・ モバイルデータを活用した信用スコアリング
 - ・ 新生銀行とサービス開始予定（2019年春）
- ② コンタクトセンター向けDXソリューションの提供
 - ・ 高精度な対話型AIやRPAを組み合わせ、定型業務のプロセス全体を自動化
 - ・ 飲食店予約サイトとの共同実験開始（2018年12月～）
- ③ デジタルマーケティング支援の強化に向けたネットイヤーグループとの資本業務提携

映像コンテンツビジネスの強化

- NTTドコモによるNTTぷららの子会社化

- NTTドコモの会員基盤とNTTぷららの映像コンテンツ制作技術、ノウハウを連携させることにより、パーソナリ化された新たなコンテンツビジネスを展開

【例】 NTTドコモ「新体感ライブ」サービス開始（2019年1月18日）

マルチアングルライブ

好きなアングルを選んで視聴



ARフィギュア

ミニチュアCGアーティストが出現



TIG※（ティグ）

触れる動画技術



- NTTぷららとイースト・グループ・ホールディングスの資本提携

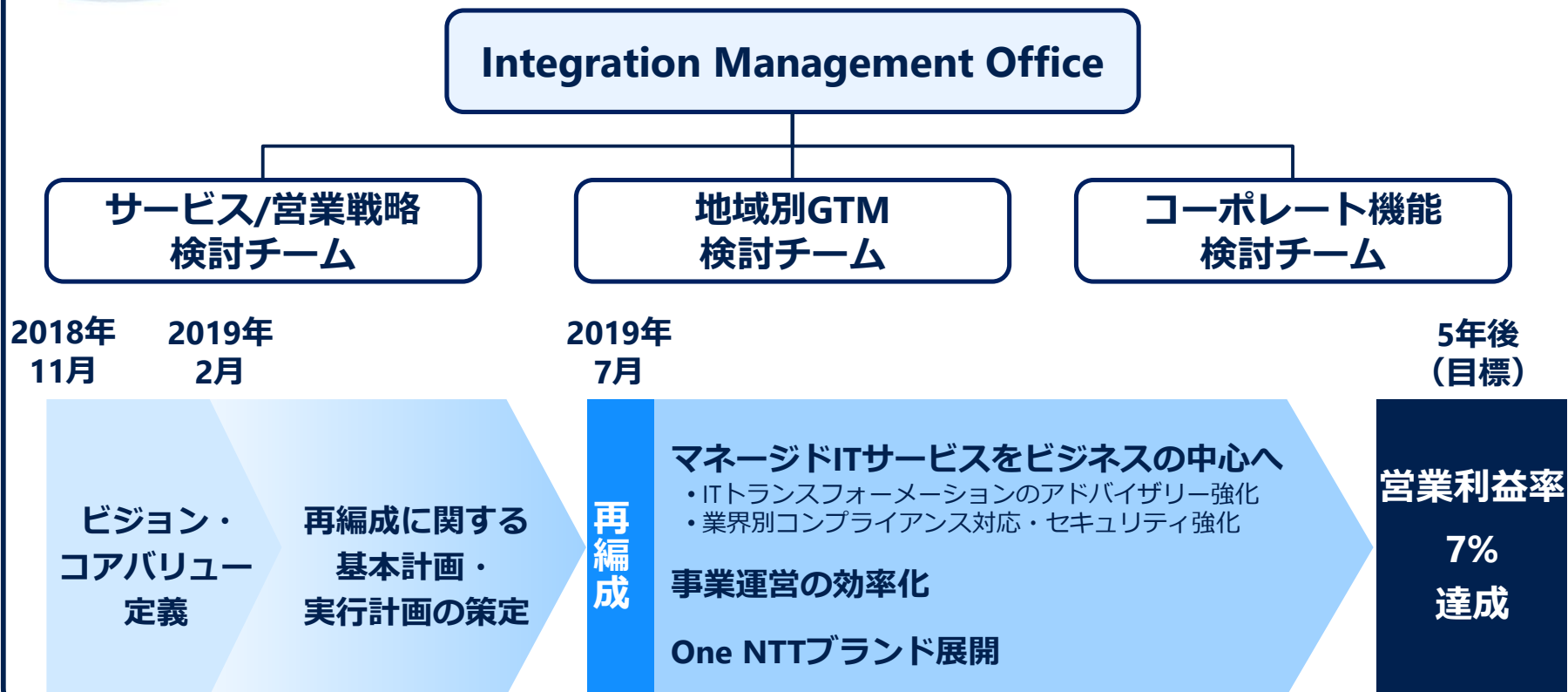
- 番組制作会社との連携によるオリジナルコンテンツの充実

※TIGはパロニム株式会社が開発した技術です。

グローバル事業の競争力強化①

グローバル事業会社設立に向けた取り組み状況

- 2018年11月に Integration Management Office（IMO）を設置し、60名のコアメンバーを中心とする再編成の検討体制を立ち上げ
- 2019年7月の再編成実施に向け、計画を策定中



NTT, Inc.のガバナンス体制

代表取締役社長	澤田 純	(当社 代表取締役社長)
取締役副社長	島田 明	(当社 代表取締役副社長)
取締役	奥野 恒久	(当社 常務取締役 グローバルビジネス推進室長)
取締役	Brandon Lee	(当社 グローバルビジネス推進室 Vice President)
取締役	庄司 哲也	(NTTコミュニケーションズ 代表取締役社長)
取締役	本間 洋	(NTTデータ 代表取締役社長)
取締役	Jason Goodall	(Dimension Data CEO)
取締役	Bill Padfield	(Dimension Data COO)
取締役	柳瀬 唯夫	(前経済産業審議官)
常勤監査役	榎本 隆	(元NTTデータ 代表取締役副社長)
監査役	前澤 孝夫	(当社 常勤監査役)
監査役	井手 明子	(当社 常勤監査役)

グローバル事業の競争力強化③

～One NTTブランディングの強化～

北米最高峰カーレース「インディカー」とのスポンサーシップ締結

- 2019年シーズンより「インディカー・シリーズ」の冠スポンサーに
- 公式テクノロジーパートナーとしてレースやサーキットのスマート化、ファン体験の向上について、インディカーと協業

公式ロゴ



インディカー・シリーズ概要



Indy500が開催されるIndianapolis Motor Speedway※

北米15都市で
年間17レース開催

ファン人口 約6,900万人
(米国人口の約5分の1に相当)

1レース平均100万世帯が
テレビ観戦

最大レースの「Indy500」は
約40万人が現地で観戦、
約200カ国にテレビ中継

※写真はイメージです。

Mobile World Congress 2019への出展

- NTT、ドコモ、その他のNTTグループ会社による共同出展
- Smart Worldの実現に向けたデジタルトランスフォーメーションの事例、5Gによるビジネス協創の最新事例などを紹介



NTTグループ MWC19 Barcelona特設ホームページ <http://www.ntt.co.jp/activity/mwc/ja/>

<MWC2019概要>



25-28 February 2019

会期	2019年2月25日（月）～ 2019年2月28日（木）
開催会場	Fira Gran Via、Fira Montjuïc（スペイン・バルセロナ）
主催者	GSMA
出展予定社数	2,400社超
来場予定者数	100,000人超

※ブースデザインはイメージです。デザインは変更となる場合があります。

AI・通信ビル・直流技術を活用しスマートエネルギーソリューションを展開

● 地域社会のニーズに即した新たなエネルギーソリューションを提供

スマートエネルギーソリューション

災害時

- ・ 防災拠点の電力維持
- ・ 状況に応じた電力提供の最適化
- ・ 住民への電力関連情報のタイムリーな提供

平常時

- ・ 再生可能エネルギー利用の促進
- ・ エネルギーコストの節減
- ・ 地産地消の推進

AI等ICTによる
エネルギー制御

通信ビルへの
リチウム蓄電池設置

直流方式の導入

配電線の利用

EVの活用

● 千葉市と「実証共同検討に関する協定」を締結（2019年2月5日）

配当

- 期末配当を年度当初の配当予想から10円増額の95円
- 年間1株当たり180円の配当（対前年30円増）

自己株式取得の完了

- 自己株式取得：1,500億円（32,868,000株）の取得を完了（2019年1月11日）
- 2018年度自己株式取得累計額：2,580億円（53,646,000株）



Appendix

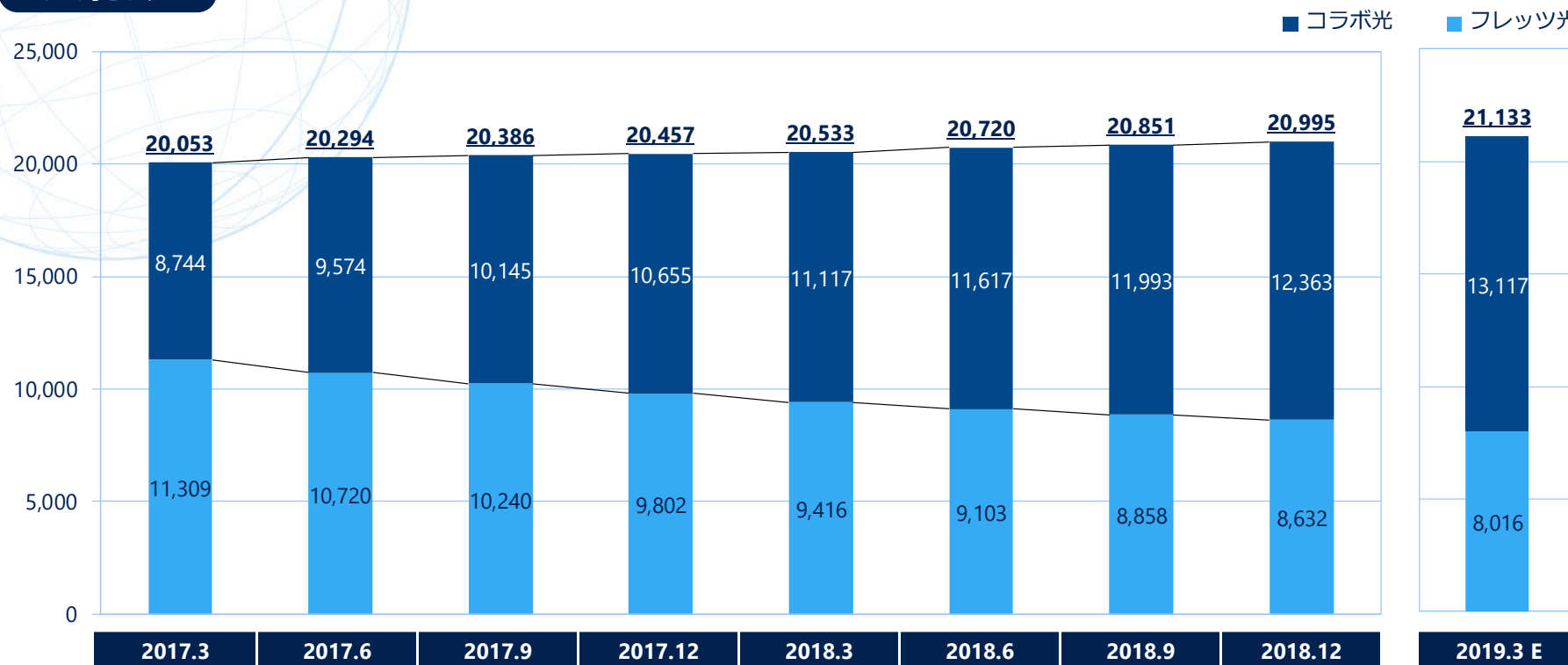


ブロードバンド・サービス

固定ブロードバンドの契約数

契約数

(単位: 千契約)



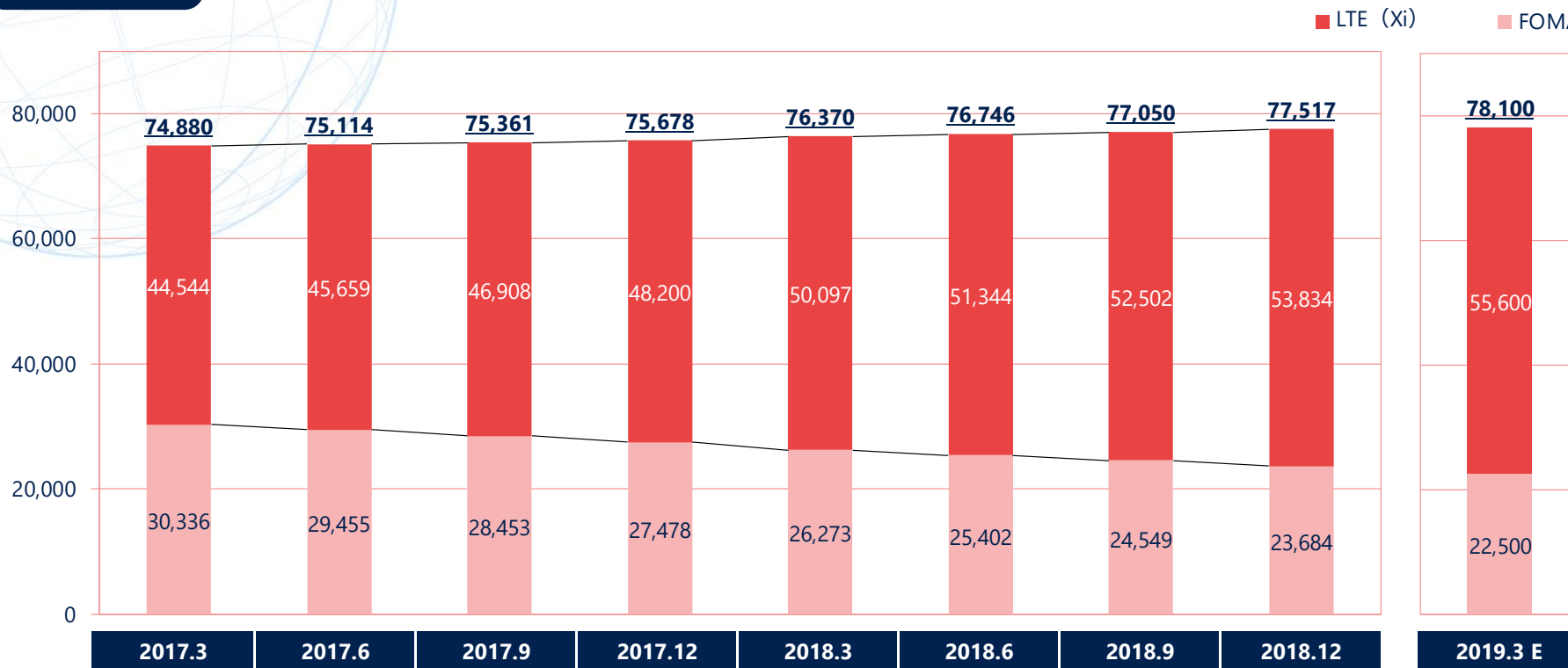
純増数

	2017 4-6	2017 7-9	2017 10-12	2018 1-3	2018 4-6	2018 7-9	2018 10-12	2018 4 - 2019 3 E
合計	+241	+92	+72	+75	+187	+131	+144	+600
	+480				+463			
コラボ光	+830	+571	+510	+462	+500	+376	+370	+2,000
	+2,373				+1,246			
フレッツ光	▲589	▲480	▲438	▲387	▲313	▲245	▲226	▲1,400
	▲1,894				▲784			

移動ブロードバンドの契約数

契約数

(単位: 千契約)



純増数

	2017 4-6	2017 7-9	2017 10-12	2018 1-3	2018 4-6	2018 7-9	2018 10-12	2018 4 - 2019 3 E
LTE(Xi)+ FOMA	+234	+247	+317	+692	+376	+304	+467	+1,700
	+1,491			+1,147				



財務状況

連結損益計算書の状況

(単位：億円)

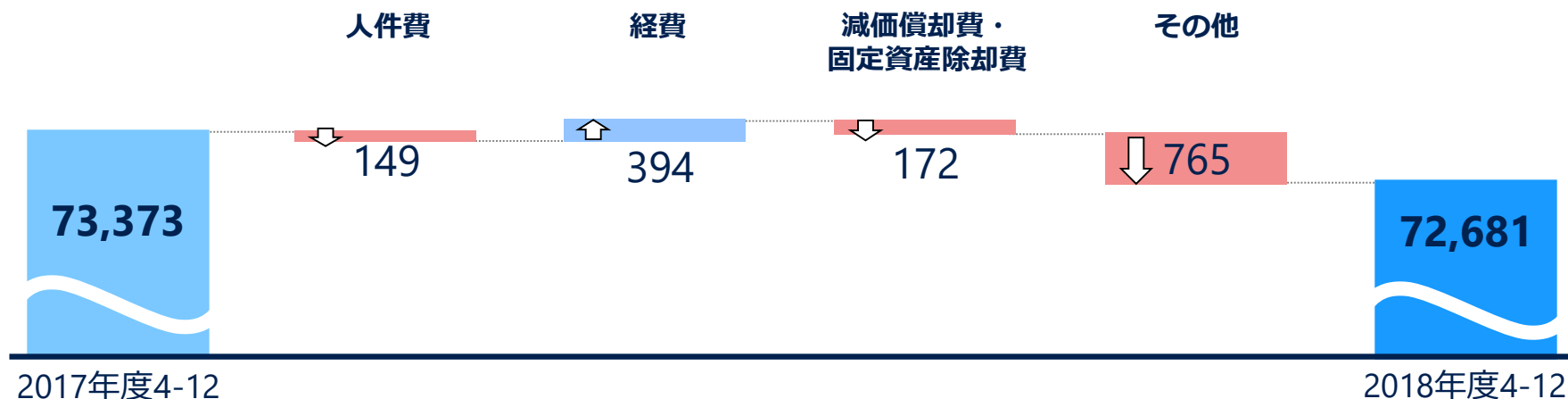
営業収益

(対前年：+483)



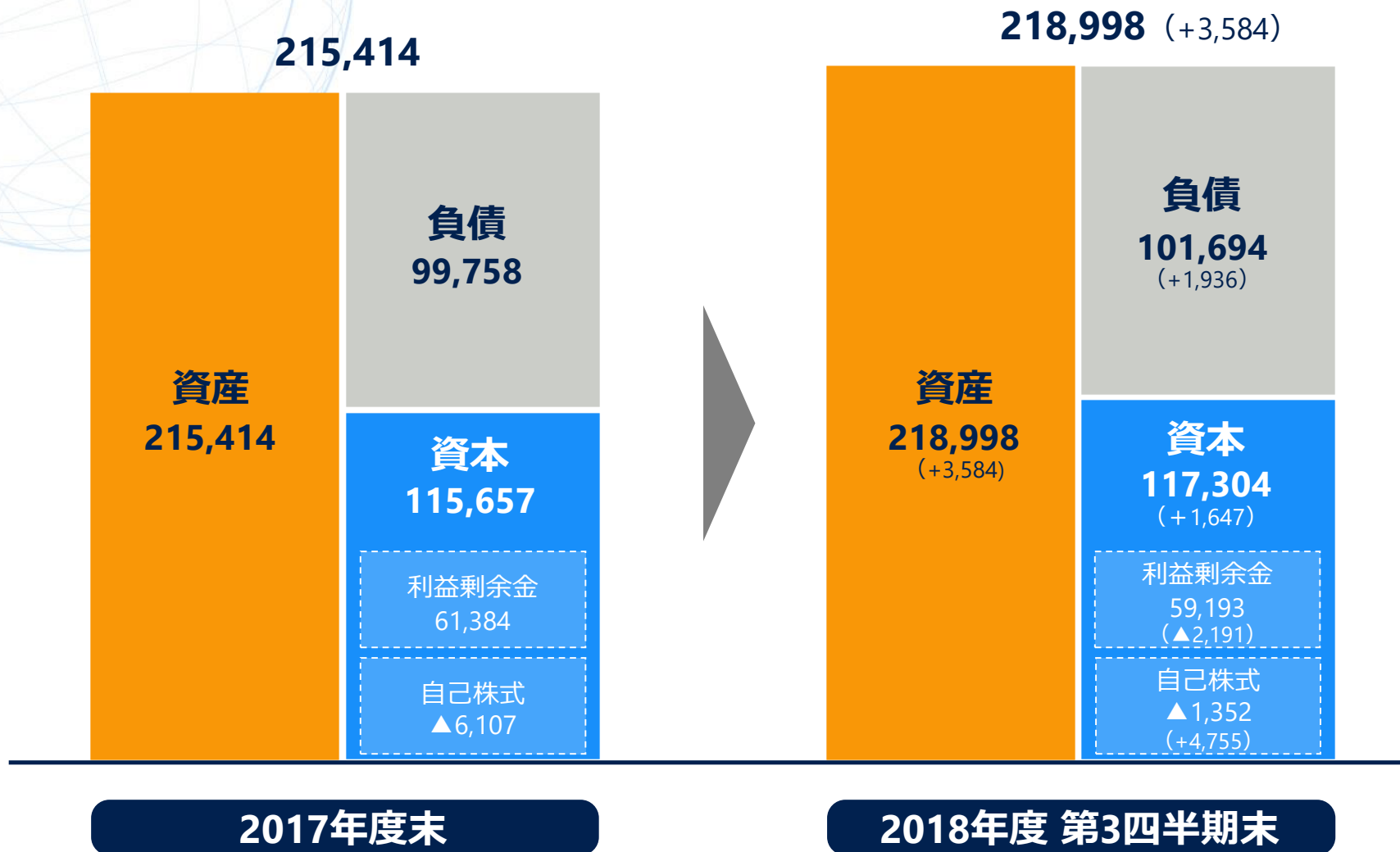
営業費用

(対前年：▲692)



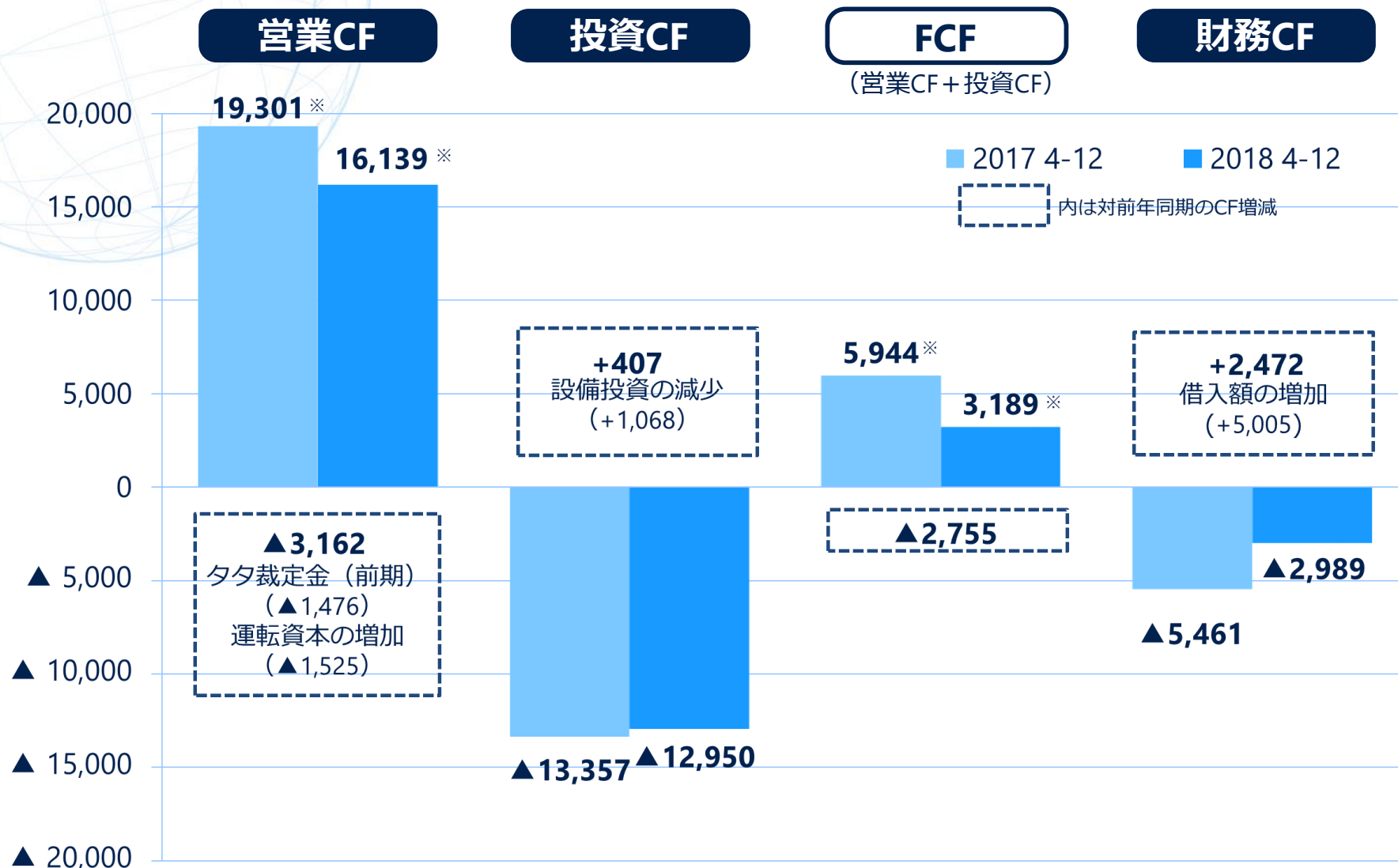
連結貸借対照表の状況

(単位：億円)



連結キャッシュ・フローの状況

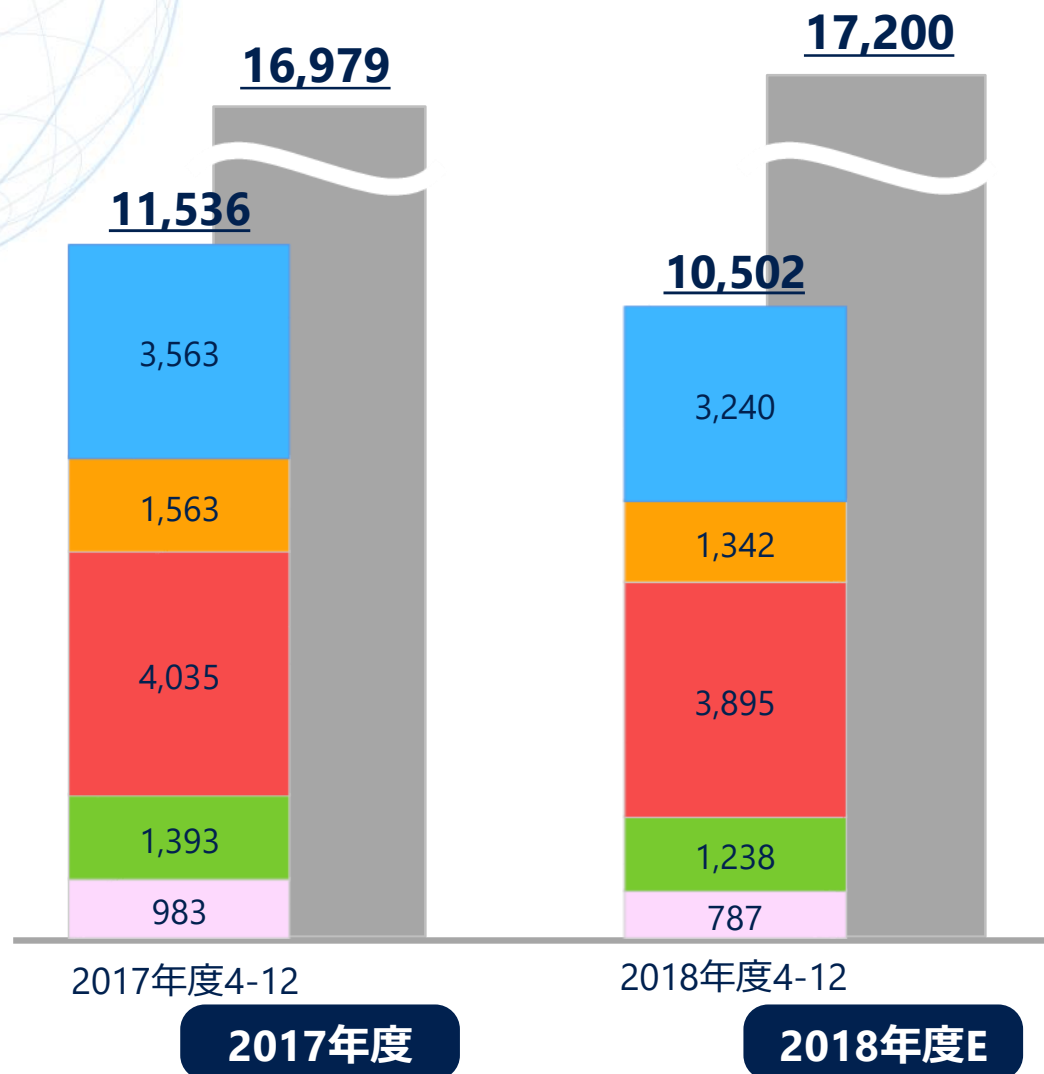
(単位：億円)



※前期末日及び当第3四半期末日が休日だった影響を除いた額。

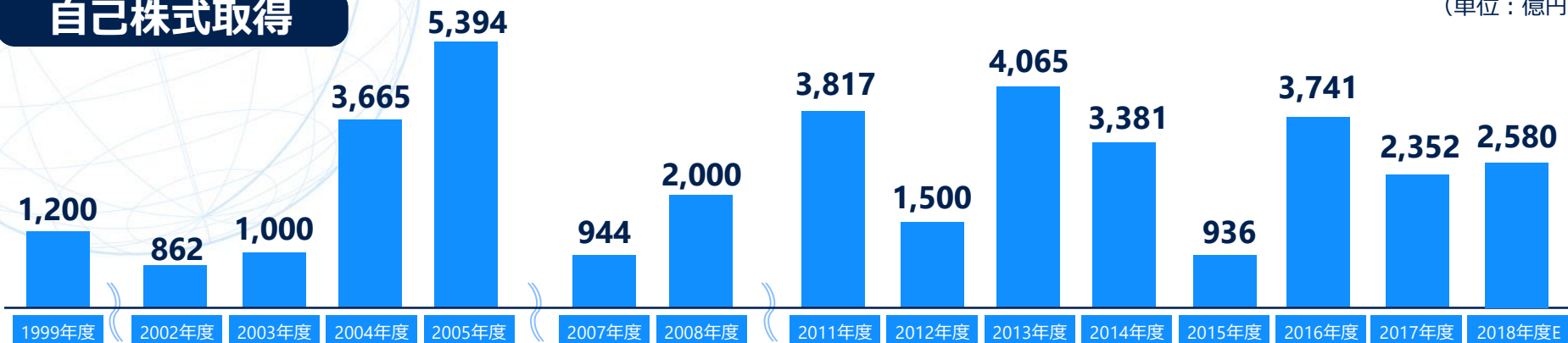
設備投資額の状況

(単位：億円)



自己株式取得

(単位：億円)

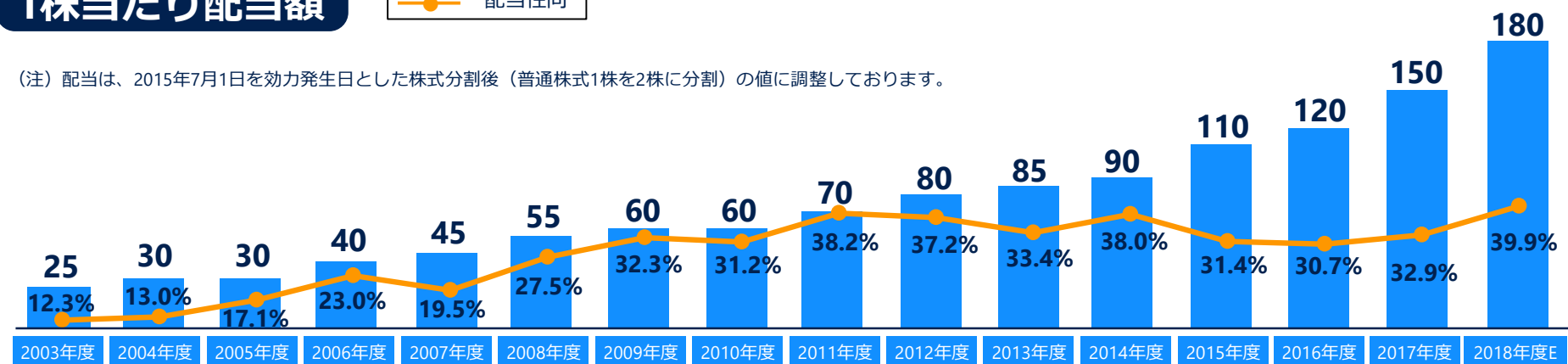


1株当たり配当額

—●— 配当性向

(単位：円)

(注) 配当は、2015年7月1日を効力発生日とした株式分割後（普通株式1株を2株に分割）の値に調整しております。





Your Value Partner